

新発田市 令和元年度 第9回定例記者会見

- 1 日 時 令和元年12月4日(水)午前11時～
- 2 場 所 ヨリネスしばた501会議室
- 3 内 容
「しばた^{みそじんしき}三十路人式」参加者募集
毎日カップ中学校体力づくりコンテスト小規模校部門文部科学大臣賞受賞
「敬和学園大学と連携した国際理解講座」
市民表彰式・新発田市新春を祝う会
蛇塚行政区伝統行事「くり・かき年始」
イクネスしばた受験生応援プロジェクト
義士祭
札の辻クリスマスイルミネーション
イクネスしばた おやこキッチン「おやこでわくわく！クリスマスランチ」
中央図書館企画展「にいがたゆかりの作家たち」
しばた人権フェスティバル
男女共生市民講座「いのちの授業」

あいさつ

いよいよ、令和元年も師走を迎えます。冬の日本海側ならではの天気になってきました。今、雨が降っていますが、この雨が白い雪に変わるのだろうと思っています。

このような時期ですから、雪に対しては心の準備もできていますし、除雪の体制も整っていますが、できれば降らないでほしいというのが偽らざる心境です。

今年は、皇居前で、しばた台輪を全国の皆さんにお披露目する機会をいただき、6台勢ぞろいで、今までにない勇壮な姿を見せることができ大変喜んでいきます。

また、先日、ニューヨークに新発田産米のトップセールスに行ってきました。やっとニューヨークに行けたというのが実感であり、足掛け5年かかりましたが、大きな成果を出すことができたのではないかと考えています。

5・6 件ほどの外食産業の社長とお会いする機会をいただき、滞在中に 2 つの業者と契約することができました。現地法人のニューヨークでの販売拠点である「ライスファクトリー」で行った営業が功を奏し、12 月から試験的に新発田産米を取扱っていただけるよう、調整に入っている業者が 3 社ほどあるようです。

お試しいただく期間が終われば、契約していただけるのではないかと考えています。また、ライスファクトリーでは、新発田ブースを設置してもらい、おかきや煎餅などを扱ってもらっています。

おかきや煎餅は、すぐに食べることができることもあってか、間もなく完売するとのことで、追加で送るように依頼があったとのことです。

輸出にあたっては、コストの都合で船便を利用しており、次に現地に荷物が届くのは来年 2 月であるため、もしかしたら品切れの状態がそれまで続くかもしれません。この辺は嬉しいようでもあり、学ぶ機会であったような気がしています。

当市の米の海外輸出の取組の話が、農林水産省の方の耳にも入ったようで、昨日、同省の輸出促進プロジェクト担当部署、北陸農政局、新潟県の皆さんがお越しになりました。

当市が構築したサプライチェーン、つまり、私たちが食べているお米と同じ状態のものがニューヨークでも食べることができるという仕組みを勉強したいとのことで視察に来られました。

できれば、モデルとして国に提案してほしいという依頼をされていますので、当市の取組が国のモデル事業になれるように資料作成を行っています。ぜひ、「オール新発田」で頑張っていきたいと思っています。

それでは、会見項目を説明いたします。

最初に、「しばた^{みそじんしき}三十路人式」について

当市における新たなリターン促進の取組として、来年 2 月 8 日（土）に、「しばた^{みそじんしき}三十路人式」を開催することとし、その参加者を募集します。

この取組の目的は、成人してから 10 年がたち、30 歳の節目を迎える若者たちが新発田に集まり、旧友と語り合うことのできる機会を持つことで、ふるさとへの思いを再確認してもらうことです。

30 歳という年齢を迎える頃には、結婚して家庭を持ったり、出産を経て親となり、新たな家族を迎えたりするなど、生涯において、思い出深い経験をする時期になります。

そのような状況の中では、快適な住宅環境を求めたり、わが子にとって、良好な子育て環境や教育環境を整えたいと考えたりするなど、人生の中でも大きな選択をする時期にもなります。

そうした意味では、「ふるさと新発田」への思いを新たにしてもらうには、絶好のタイミングであることから、まずは、30 歳の若者たちが集える場を設けてみようという試みです。

この取組は、市主導によるものではなく、各中学校区から選出されたスタッフが中心となり、企画・運営をするなど、30 歳の若者たちによる手作りのイベントです。

対象は市内在住または当市出身の方で、イベント当日は、同級生と飲食を楽しみながら語り合ってもらうほか、スタッフが計画した楽しいイベントなどを通じて、交流を深めてもらいます。

市内にお住まいの 30 歳の方も、ふるさとを離れて各地で頑張っている 30 歳の方も、友達同士で「みんなで三十路^{みそじんしき}人式に参加しよう」と言って声を掛けあい、多くの方が集うことのできる機会にしてもらいたいと思います。

次に、「毎日カップ中学校体力づくりコンテスト 文部科学大臣賞受賞」について

当市の佐々木中学校における「体力づくりの取組」が評価され、このたび、最高賞である文部科学大臣賞を受賞することが決定しました。このような高い評価を受けるのは、県内初のことであると聞いています。

これを受け、12月7日(土)には、代表生徒と教員が都内で行われる、授賞式に参加します。

佐々木中学校では、目指す生徒像に「健康でたくましく活動する生徒」を掲げており、日頃から、健康な心身の育成を図るため、体力づくりに力を入れてきました。

週に1回、放課後に全校生徒が集まって行う「サーキットトレーニング」のほか、過去に日本体育大学の集団行動チームと交流を持ち、指導を受けたことがきっかけとなり、全校生徒による学校独自の集団行動「^{ともえ}巴」を、学校行事などで、保護者や地域の方に披露するなど、学校ぐるみの取組を進めています。

当市では、今年度から「健康長寿のまち しばた」の実現を目指し、取組を開始したところです。

これに伴い、小・中学校期には、家庭・地域・学校などが連携し、子どもたちが「運動の楽しさを実感できる取組」や「スポーツ活動の充実」を図ることにしています。

子どもの頃に運動機会を定着させることは、今後の「健康長寿」の取組を進めるにあたり、重要なカギとなります。

このような取組が市内の全小・中学校で展開され、心身ともに健全な「しばたっ子」が育成できるよう、市としてもより一層努めてまいりたいと思っています。

次に、「敬和学園大学と連携した国際理解講座」について

12月15日(日)に敬和学園大学と連携し、国際理解講座を開催します。今年度は、講師に初めて同大学の中国人留学生の方をお願いし、中国の方の暮らしについてスポットを当てた内容で開催することとしています。

当市では、在留外国人の方に新発田市での生活に少しでも早く慣れてもらうために、暮らしのガイドや情報誌の発行、日本語学習の支援などを行っています。

一方で、日本人である市民の皆さんに、外国人の方に対する理解を深めてもらい、様々な国籍の外国人住民と地域住民が円滑に生活できるような環境づくりを行うことを目的に、毎年1回、国際理解講座を開催しています。

新発田市の在留外国人は、中国国籍の方が一番多く、約35%を占める状況にありますが、これまで、中国をテーマにした国際理解講座は開催しておりませんでした。

そのようなことから、今年は、現地の衣食住についての講演や中国料理の調理実習などを通じて、中国という国や中国人の方について、市民の皆さんに理解を深めてもらえるよう企画しました。

ぜひ、多くの皆さんに他国の文化などに対して理解を深めてもらい、行政からの支援と併せて、一体的に取り組を進めることで、在留外国人の方の支援につなげていきたいと考えています。

次に、「市民表彰式・新発田市新春を祝う会」について

1月7日(火)に、「市民表彰式」と「新発田市新春を祝う会」を開催します。

カルチャーセンターを会場として、「市民表彰式」では、「市民表彰」、「賀状」、「まちづくり善行賞」を合わせて、39人、5団体を表彰します。

引き続き行われる「新春を祝う会」では、各界各層の皆様にお集まりいただき、新年のご挨拶と年賀の交換をさせていただきます。

また、オープニングアトラクションとして、職人町獅子保存会の皆さんに獅子舞をご披露いただきます。

令和最初に迎える新年であり、その1年の始まりを多くの市民の皆さんといっしょにお祝いしたいと思っていますので、是非ともおおぜいの方にお集まりいただきますようお願いいたします。

また、記者の皆さんにもご案内を差し上げております。ぜひご参加くださるようお願いいたします。

次に、「蛇塚行政区伝統行事『くり・かき年始』」について

市内の豊浦地区に伝わる正月恒例の行事「くり・かき年始」をご紹介します。

この行事は、豊浦地区の蛇塚・吉浦・加治万代の各地区で100年以上続く伝統行事であり、日本版ハロウィンと言ってもよいものです。

蛇塚行政区では、毎年元日の朝に、地元の神社に子どもたちが集まり、お祓いなどを受けたあと、集落内の各家庭を訪れ、「くり・かき年始にきました。」と新年の挨拶回りをします。各家庭では、用意したお菓子を子どもたちに手渡し、1年の無病息災を願うというものです。

最近では、以前に比べ「新年の挨拶回り」をするということも少なくなっているように感じますし、かつて当たり前に行われていた風習なども廃れてきています。

そんな中、地域の伝統行事が子どもたちに継承されることは大切であり、ふるさとへの郷土愛を育む上でも貴重なものです。

ぜひ、他の地域にお住まいの皆さんにも、こうした話題に触れてもらい、自分が住む地域に残る伝統や文化などに目を向けるとともに、地域のつながりについて考える機会にさせていただきたいと思います。

このほかの情報としては、毎年、この時期恒例となった、大学受験などを控えた方を対象に、学習場所を提供する「イクネスしばた受験生応援プロジェクト」や、本市出身の堀部安兵衛を偲ぶ「義士祭」の話題があります。

また、ヨリネス札の辻広場で光と音の競演をお楽しみいただける「札の辻クリスマスイルミネーション」を開催します。なお、今年は初めて、私がサンタクロースに変身し、イベントを盛り上げる予定にしています。

その他にも、親子でお楽しみいただけるクリスマスをテーマとした料理教室の情報があります。

一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田を盛り上げていただきたいと思います。